

平成 20 年度山形市の財務諸表について

平成 22 年 3 月
財政部 財政課

I 山形市の普通会計財務諸表の概要について

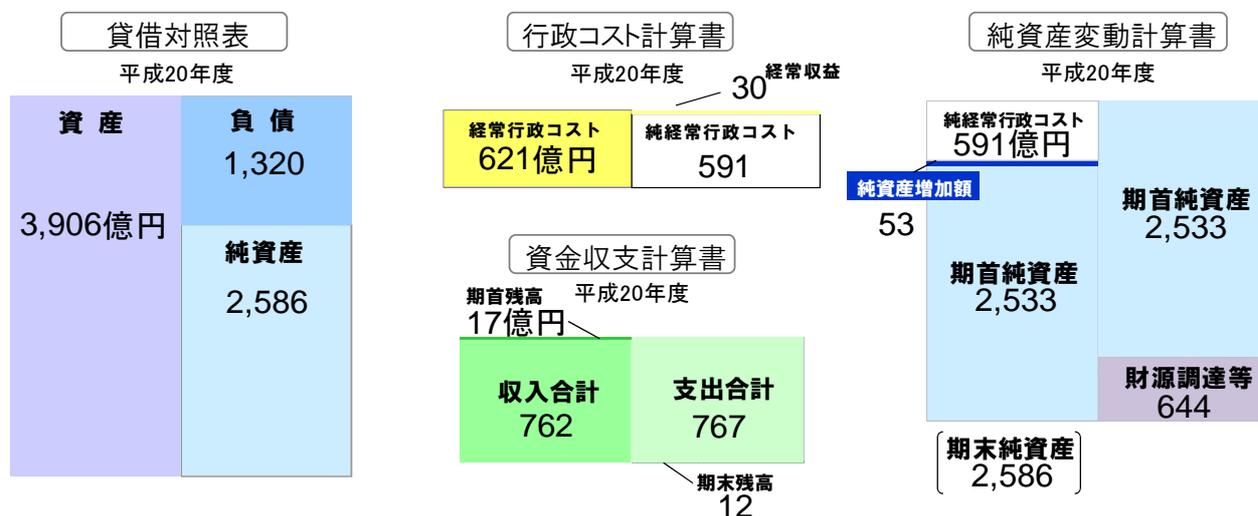
当市は、平成 20 年度の普通会計財務諸表(総務省方式改訂モデル)について、総務省が公表した「新地方公会計制度実務研究会報告書」(平成 19 年 10 月)に基づき、作成しました。

1 財務諸表の基本的な作成方針等

対象会計	普通会計(山形市一般会計及び山形市区画整理事業会計)
対象年度	平成 20 年度(作成基準日・平成 21 年 3 月 31 日) ただし、出納整理期間における取引は、基準日までに終了したものと処理
基礎数値	昭和 44 年度から平成 20 年度までの地方財政状況調査(決算統計)における数値、山形市の平成 20 年度決算書等を使用
有形固定資産	取得原価により計上し、昭和 44 年度以降の決算統計における普通建設事業費の累計額を基礎として算定(固定資産台帳については段階的に整備)※
売却可能資産	・ 範囲…普通財産(市が行政目的で貸し付けているものを除く) ・ 価額の算定方法…不動産鑑定評価や売買実例等に基づく合理的な評価
投資及び出資金	株式等の有価証券や連結対象となる会計及び法人等への出資金等について、時価または、実質価額により計上
回収不能見込額	市税や保育料等の歳入未済額について、債権の種類別に過去の回収不能実績率により、回収不能見込額を計上
退職手当引当金	職員全員が会計年度末に普通退職した場合に必要な退職手当支給額を計上(地方財政健全化法による将来負担比率の算定における「退職手当負担見込額」と同額)

※新地方公会計制度における資産評価は、公正価値による評価が原則ですが、市道や学校等の有形固定資産については、価額情報を含む固定資産台帳の整備に一定の時間を要することから、総務省方式改訂モデルを選択した場合は、当面の間決算統計の取得原価により計上し、段階的な台帳整備が認められています。

2 普通会計財務諸表の要旨



2 普通会計財務諸表の要旨(つづき)

平成20年度山形市普通会計財務諸表の要旨・4表の関係

貸借対照表の要旨

(平成21年3月31日現在) (単位:百万円)

資産の部		負債の部	
1.公共資産	365,847	1.固定負債	119,884
(1)有形固定資産	362,332	(1)地方債	93,527
①生活インフラ		(2)長期未払金	10,537
国土保全	213,816	(3)退職手当引当金	15,820
②教育	86,949	2.流動負債	12,102
③福祉	8,687	(1)翌年度償還	
④環境衛生	7,124	予定地方債	9,485
⑤産業振興	25,134	(2)未払金	791
⑥消防	2,784	(3)翌年度支払	
⑦総務	17,839	予定退職手当	1,097
(2)売却可能資産	3,515	(4)賞与引当金	729
2.投資等	19,317	負債合計	131,986
(1)投資及び出資金	13,512	純資産の部	
(2)貸付金	158	1.公共資産等整備国庫補助金等	52,776
(3)基金等	4,649	2.公共資産等整備一般財源等	250,450
(4)その他	998	3.その他一般財源等	△ 48,211
3.流動資産	5,452	4.資産評価差額	3,616
(1)財政調整基金	3,110	純資産合計	258,630
(2)減債基金	547	資産合計	390,616
(3)歳計現金	1,229	負債及び純資産合計	390,616
(4)市税等未収金	566		

※1 有形固定資産のうち、土地は121,303百万円です。また、有形固定資産の減価償却累計額は154,595百万円です。

※2 債務負担行為に関する情報(貸借対照表に計上したもの以外)

(1)物件の購入等に係る支出予定	8,242百万円
(2)その他・利子補給等に係る支出予定	18,518百万円

行政コスト計算書の要旨

{ 自 平成20年4月1日
至 平成21年3月31日 }

経常行政コスト (単位:百万円)	
経常行政コスト	62,088
1.人にかかるコスト	14,487
(1)人件費	12,254
(2)退職手当引当金繰入等	1,504
2.物にかかるコスト	19,821
(1)物件費	9,361
(2)減価償却費	9,328
(3)維持補修費	1,133
3.移転支的的なコスト	25,524
(1)他会計への支出	10,314
(2)社会保障給付等	9,696
4.その他のコスト	2,255
(1)支払利息	2,041
(2)その他	214
経常収益	2,995
使用料・手数料等	2,995
純経常行政コスト	59,093
(経常行政コスト-経常収益)	

純資産変動計算書の要旨

{ 自 平成20年4月1日
至 平成21年3月31日 }

純資産変動計算書 (単位:百万円)	
期首純資産残高	253,319
純経常行政コスト	△ 59,093
財源調達	62,795
地方税	38,177
地方交付税	9,323
経常補助金	8,620
建設補助金	1,511
その他	5,164
資産評価替・無償受入	1,558
その他純資産増加額	51
純資産増加額	5,311
期末純資産残高	258,630

資金収支計算書の要旨

{ 自 平成20年4月1日
至 平成21年3月31日 }

(単位:百万円) (基礎的財政収支)

1.経常的収支	18,240	収入総額	76,183
2.公共資産整備収支	△ 4,768	支出総額	△ 76,671
3.投資・財務的収支	△ 13,959	地方債発行額	△ 5,456
当期収支	△ 487	地方債元利償還額	11,614
期首資金残高	1,716	減債基金等増減	870
期末資金残高	1,229	基礎的財政収支	6,541

(注)1 貸借対照表、行政コスト計算書及び純資産変動計算書、資金収支計算書は総務省方式改訂モデルに則って作成しております。

(注)2 各表示額は、十万の位で四捨五入しているため、内訳と合計が一致しないことがあります。

貸借対照表	一定時点における「資産」と「負債」といった財政状況(残高)を一覧で示すもの
行政コスト計算書	1年間の行政活動のうち、資産形成につながらない行政サービスの経費(人件費や物件費等のコスト)とその行政サービスの直接対価(使用料等)となる財源を対比させたもの
純資産変動計算書	貸借対照表の純資産の部(「資産」-「負債」=「純資産」)であり、資産形成の財源として費やした市税や国庫補助金等の額等に計上されている各数値が1年間でどのように変動したかを示すもの
資金収支計算書	歳計現金(=資金)の出入りの情報を示すもの

II 山形市の連結財務諸表の概要について

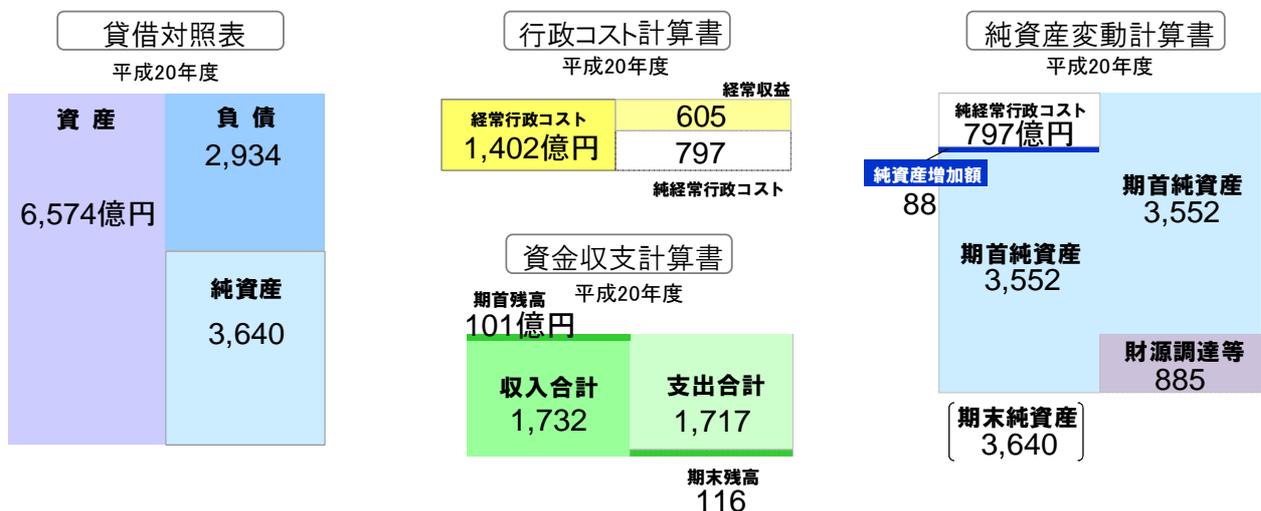
当市は、平成20年度の連結財務諸表(総務省方式改訂モデル)について、総務省が公表した「新地方公会計制度実務研究会報告書」(平成19年10月)に基づき、作成しました。

連結財務諸表は、普通会計に、市が経営する水道や病院の公営企業会計、その他の公営事業会計、市が構成員となっている一部事務組合・広域連合、市が出資する第三セクター等を加えて「一つの行政サービス実施主体」とみなし、その財政状況等を示す財務諸表です。

1 財務諸表の基本的な前提

対象会計等	<ul style="list-style-type: none"> ・普通会計 一般会計及び区画整理事業会計 ・公営事業会計 <ul style="list-style-type: none"> 公営企業会計 水道事業会計, 市立病院済生館事業会計 その他 <ul style="list-style-type: none"> 公共下水道事業会計, 駐車場事業会計, 中央卸売市場事業会計, 農業集落排水事業会計, 国民健康保険事業会計, 老人保健医療事業会計, 後期高齢者医療事業会計, 介護保険事業会計 ・一部事務組合・広域連合 <ul style="list-style-type: none"> 山形県消防補償等組合, 山形広域環境事務組合, 山形県後期高齢者医療広域連合 ・第三セクター等 <ul style="list-style-type: none"> 山形市土地開発公社, (財)山形市開発公社, (財)山形市文化振興事業団, (財)山形市健康福祉医療事業団, (財)山形コンベンションビューロー, (社)山形市農業振興公社, (財)山形市水道サービスセンター, (社福)山形市社会福祉事業団
対象年度	平成20年度(作成基準日・平成21年3月31日) ただし、出納整理期間のある普通会計等と連結対象の会計等の取引は、基準日までに終了したものととして処理
基礎数値	<ul style="list-style-type: none"> ・普通会計・その他公営事業会計・一部事務組合等…決算統計及び決算書 ・公営企業会計・第三セクター等…各法令等の規定に基づく財務書類

2 連結財務諸表の要旨



2 連結財務諸表の要旨(つづき)

平成20年度山形市連結財務諸表の要旨・4表の関係

連結貸借対照表の要旨

(平成21年3月31日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
1.公共資産	625,267	1.固定負債	269,061
(1)有形固定資産	621,743	(1)地方債	233,720
①生活インフラ		(2)事務組合地方債	82
国土保全	399,687	(3)長期借入金	2,704
②教育	86,949	(4)退職手当引当金	20,626
③福祉	10,108	(5)長期未払金等	11,929
④環境衛生	76,565	2.流動負債	24,341
⑤産業振興	27,511	(1)翌年度償還	
⑥消防	3,084	予定地方債	16,972
⑦総務	17,839	(2)翌年度支払	
(2)売却可能資産等	3,524	予定退職手当	1,567
2.投資等	15,302	(3)賞与引当金	1,155
(1)投資及び出資金	1,842	(4)その他	4,647
(2)貸付金	180		
(3)基金等	10,295		
(4)その他	2,985		
3.流動資産	16,376		
(1)資金	11,631		
(2)未収金	3,284		
(3)その他	1,461		
4.繰延勘定	417		
資産合計	657,362	負債合計	293,402
		純資産の部	
		1.公共資産等整備国庫補助金等	102,904
		2.公共資産等整備一般財源等	305,482
		3.他団体及び民間出資分	180
		3.その他一般財源等	△ 49,670
		4.資産評価差額	5,064
		純資産合計	363,960
		負債及び純資産合計	657,362

連結行政コスト計算書の要旨

〔自 平成20年4月1日
至 平成21年3月31日〕

(単位:百万円)

経常行政コスト	140,218
1.人にかかるコスト	22,946
(1)人件費	20,471
(2)退職手当引当金繰入	1,320
2.物にかかるコスト	35,751
(1)物件費	17,028
(2)減価償却費	16,967
(3)維持補修費	1,756
3.移転支的コスト	73,041
(1)社会保障給付	61,620
(2)その他	11,421
4.その他のコスト	8,480
(1)支払利息	6,249
(2)その他	2,231
経常収益	60,537
(使用料・保険料・事業収益等)	
純経常行政コスト	79,681
(経常行政コスト-経常収益)	

連結資金収支計算書の要旨

〔自 平成20年4月1日
至 平成21年3月31日〕

(単位:百万円)

1.経常的収支	22,712
2.公共資産整備収支	△ 4,542
3.投資・財務的収支	△ 16,313
翌年度繰上充用金増減額	△ 343
当期収支	1,514
期首資金残高	10,117
期末資金残高	11,631

連結純資産変動計算書の要旨

〔自 平成20年4月1日
至 平成21年3月31日〕

(単位:百万円)

期首純資産残高	355,198
純経常行政コスト	△ 79,681
財源調達	86,988
一般財源	52,654
補助金等受入	34,334
資産評価替・無償受入	1,609
その他純資産増加額	△ 154
純資産増加額	8,762
期末純資産残高	363,960

(注)1 貸借対照表、行政コスト計算書及び純資産変動計算書、資金収支計算書は総務省方式改訂モデルに則って作成しております。

(注)2 各表示額は、十万の位で四捨五入しているため、内訳と合計が一致しないことがあります。

連結貸借対照表	普通会計の貸借対照表に、公営事業各会計を加えた市全体の資産・負債及び、関係する団体・法人等の資産・負債を加えて、一つの行政サービス実施主体としての財政状況(残高)を一覧で示すもの
連結行政コスト計算書	連結対象となる会計・団体・法人等の行政サービスの経費と財源(直接対価)を加えて対比させ、一つの行政サービス実施主体としての行政活動(資産形成以外)を示すもの
連結純資産変動計算書	連結貸借対照表の純資産の部が1年間でどのように変動したかを示すもの
連結資金収支計算書	連結対象となる会計・団体・法人等の資金の出入りを、一つの行政サービス実施主体として示すもの

※なお、連結対象内の会計・団体・法人間の投資・貸付や、補助金等の支出・受入は相殺されています。